

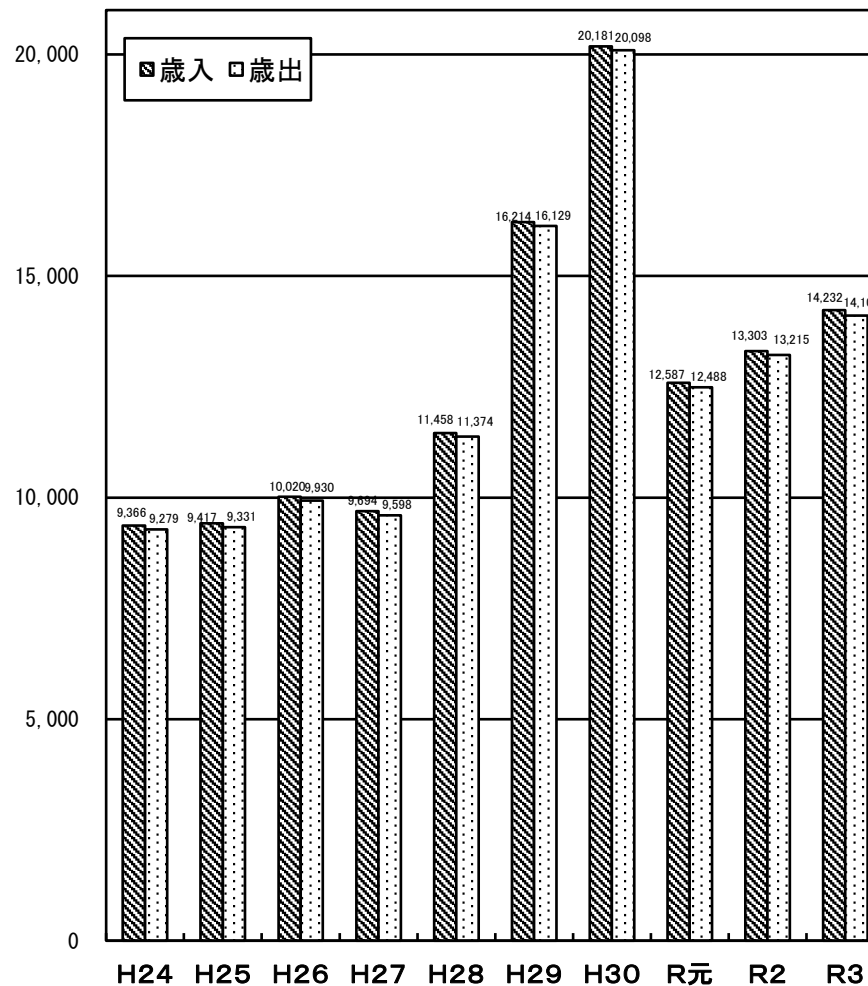
# 一般会計等説明資料

## (1) 財政の状況(総括)

(単位：千円) 百万円

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額
1 歳 入 総 額 (A)	14,232,368	13,302,620	929,748
2 歳 出 総 額 (B)	14,107,528	13,215,242	892,286
3 差 引 (A)-(B) (C)	124,840	87,378	37,462
4 翌年度へ繰越すべき財源 (D)	42,477	6,494	35,983
5 実質収支 (C)-(D) (E)	82,363	80,884	1,479
6 単年度収支 (F)	1,479	△ 1,459	2,938
7 積立金 ※財政調整基金のみ (G)	134,905	701	134,204
8 繰上償還金 (H)	0	0	0
9 積立金取崩し額 ※財政調整基金のみ (I)	0	0	0
10 実質単年度収支 (J) (F)+(G)+(H)-(I)	136,384	△ 758	137,142

○ 決算規模の推移

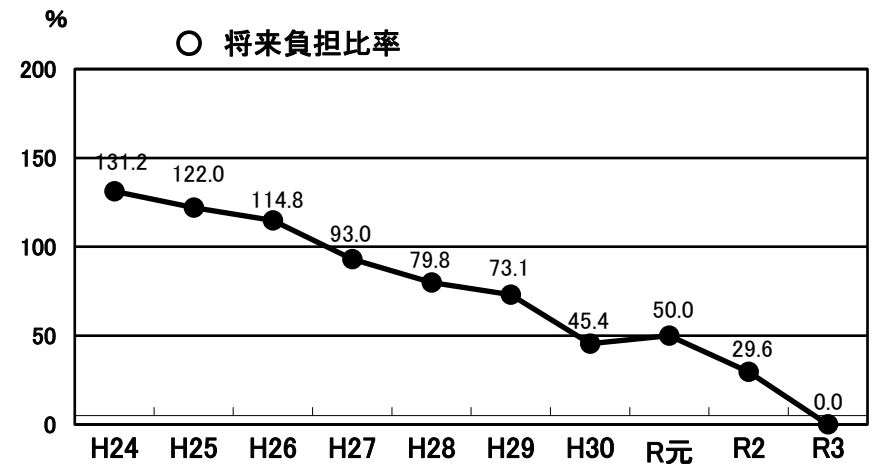
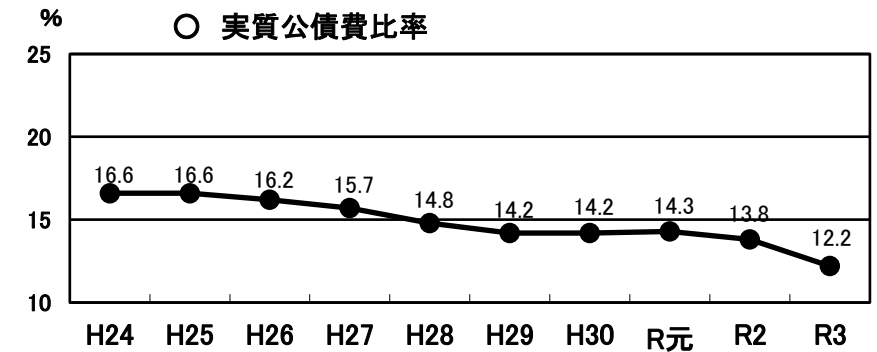
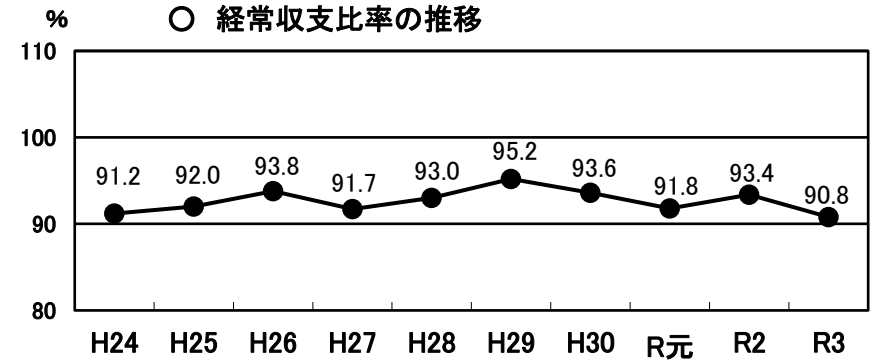


※ 当該資料は地方財政状況調査に基づく数値・指標であり、一般会計とホタテ未利用資源リサイクル事業特別会計を合算しています(「一般会計等」と表記)。  
また、一般会計とホタテ未利用資源リサイクル事業特別会計との重複(繰入金・繰出金等)については控除した額で計上しています。

(2) 財政の状況 (各指標等)

(単位：千円)

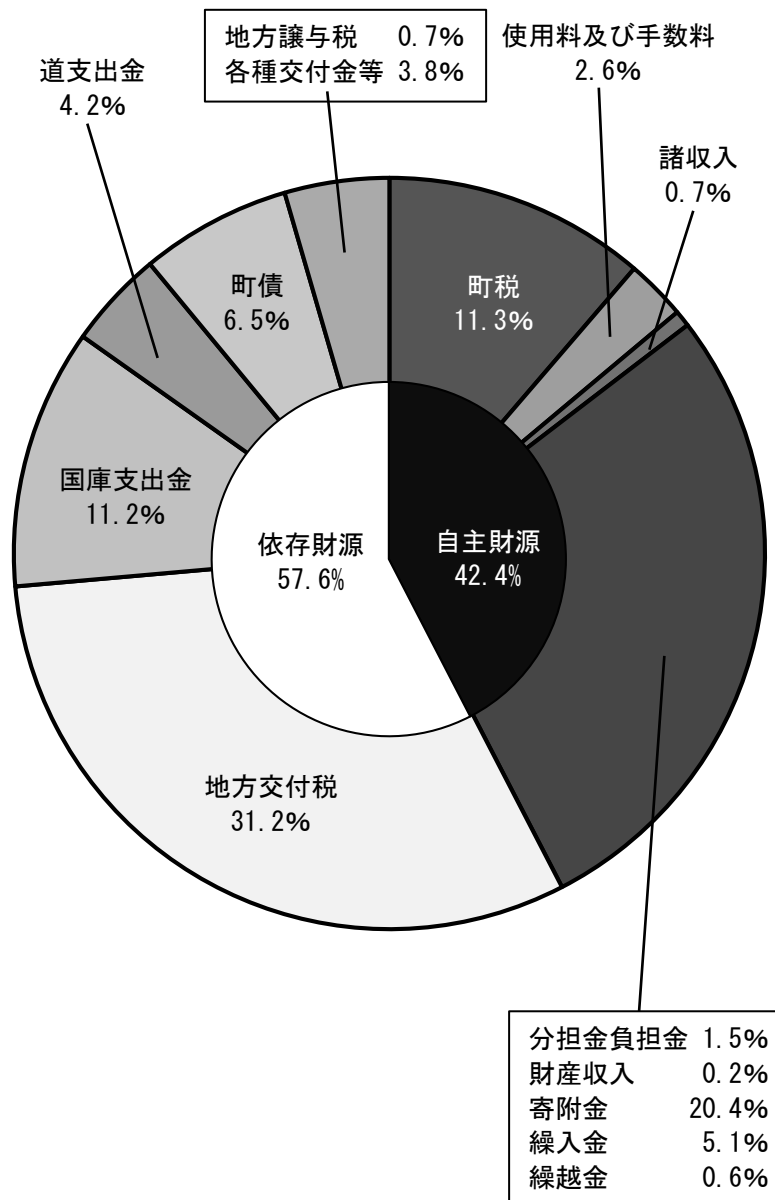
区 分	令和3年度	令和2年度	増減額等	備 考
基準財政需要額	5,757,363	5,635,105	122,258	
基準財政収入額	1,684,149	1,759,064	△ 74,915	
標準財政規模	6,418,934	6,326,577	92,357	臨時財政対策債発行可能額を含めた数値
財政力指数 (3カ年平均)	0.304	0.311	△ 0.007	
経常収支比率 (%)	90.8	93.4	△ 2.6	
実質公債費比率 (%)	12.2	13.8	△ 1.6	
将来負担比率 (%)	-	29.6	皆減	
債務負担行為現在高	739,493	900,390	△ 160,897	
備荒資金組合納付金	290,602	288,289	2,313	



(3) 歳入の状況

(単位：千円)

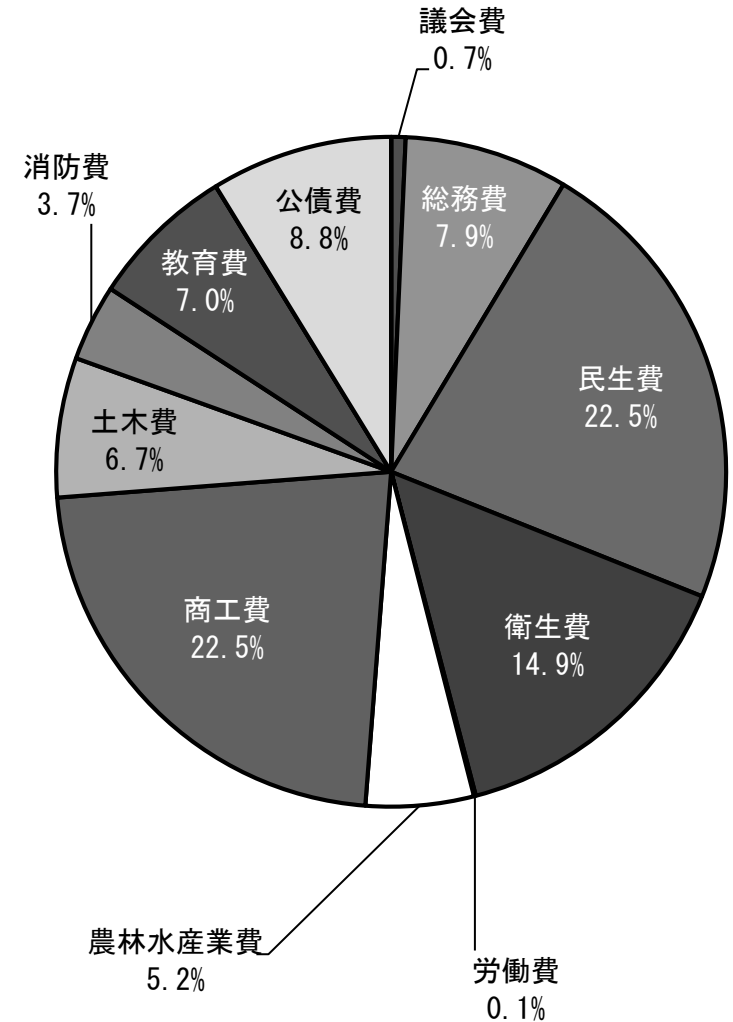
区 分	令 和 3 年 度			令和2年度	決算額 増減率 (%)
	決 算 額	うち 経 常 一 般 財 源	構 成 比 (%)	決 算 額	
1. 自 主 財 源	6,027,615	1,620,530	42.4	4,755,054	26.8
町 税	1,603,927	1,603,927	11.3	1,615,321	△ 0.7
分 担 金 及 び 負 担 金	214,343	0	1.5	53,831	298.2
使 用 料 及 び 手 数 料	368,670	551	2.6	378,027	△ 2.5
財 産 収 入	26,867	16,040	0.2	32,177	△ 16.5
寄 附 金	2,901,053	0	20.4	1,925,488	50.7
繰 入 金	722,879	0	5.1	573,619	26.0
繰 越 金	87,378	0	0.6	99,238	△ 12.0
諸 収 入	102,498	12	0.7	77,353	32.5
2. 依 存 財 源	8,204,753	4,731,680	57.6	8,547,566	△ 4.0
地 方 譲 与 税	105,727	105,727	0.7	107,627	△ 1.8
利 子 割 交 付 金	884	884	0.0	1,286	△ 31.3
配 当 割 交 付 金	4,443	4,443	0.0	3,071	44.7
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	5,360	5,360	0.0	3,681	45.6
地 方 消 費 税 交 付 金	391,573	391,573	2.8	365,687	7.1
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	9,928	9,928	0.1	9,394	5.7
自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	6,401	6,401	0.0	6,380	0.3
法 人 事 業 税 交 付 金	22,923	22,923	0.2	10,755	113.1
地 方 特 例 交 付 金	96,120	96,120	0.7	9,430	919.3
地 方 交 付 税	4,437,212	4,086,811	31.2	4,216,911	5.2
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,510	1,510	0.0	1,547	△ 2.4
国 庫 支 出 金	1,594,964	0	11.2	2,769,945	△ 42.4
道 支 出 金	604,418	0	4.2	560,412	7.9
町 債	923,290	0	6.5	481,440	91.8
合 計	14,232,368	6,352,210	100.0	13,302,620	7.0



(4) 目的別歳出の状況

(単位：千円)

区 分	令和3年度		令和2年度	決算額 増減額	決算額 増減率 (%)
	決算額	構成比 (%)	決算額		
議会費	97,960	0.7	102,446	△ 4,486	△ 4.4
総務費	1,115,542	7.9	2,457,021	△ 1,341,479	△ 54.6
民生費	3,168,956	22.5	2,555,424	613,532	24.0
衛生費	2,097,370	14.9	1,047,743	1,049,627	100.2
労働費	12,876	0.1	12,282	594	4.8
農林水産業費	734,589	5.2	752,719	△ 18,130	△ 2.4
商工費	3,179,666	22.5	2,485,953	693,713	27.9
土木費	950,499	6.7	990,920	△ 40,421	△ 4.1
消防費	520,710	3.7	456,467	64,243	14.1
教育費	992,583	7.0	1,011,746	△ 19,163	△ 1.9
災害復旧費	0	0.0	0	0	0.0
公債費	1,236,777	8.8	1,342,521	△ 105,744	△ 7.9
諸支出金	0	0.0	0	0	0.0
前年度繰上充用金	0	0.0	0	0	0.0
合 計	14,107,528	100.0	13,215,242	892,286	6.8

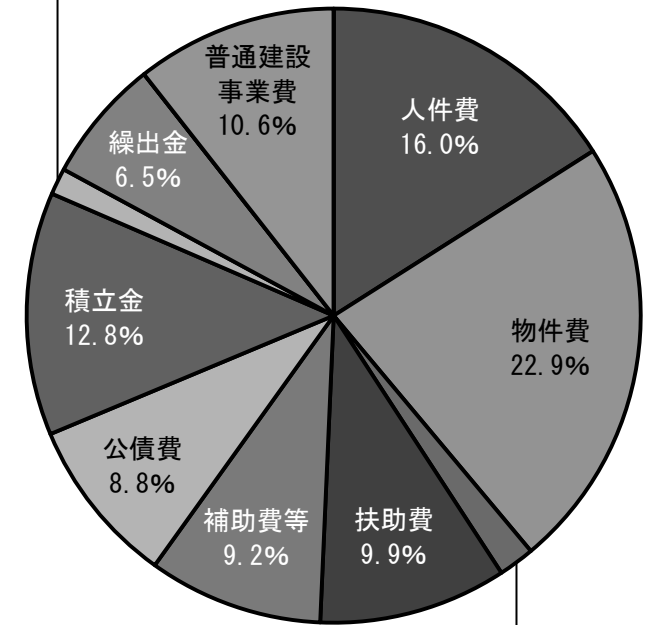


(5) 性質別歳出の状況

(単位：千円)

区 分	令 和 3 年 度				令和2年度	決算額 増減率 (%)
	決 算 額	うち 経 常 一 般 財 源	構成比 (%)	経常収支 比率(%)	決 算 額	
人 件 費 〔 職員の給与・議員・委員の報酬などの経費 〕	2,258,799	2,135,638	16.0	32.4	2,196,952	2.8
物 件 費 〔 町の経費のうち消費的性質をもつ経費（旅費、消耗 品費、施設の光熱水費など） 〕	3,225,319	914,743	22.9	13.9	2,619,952	23.1
維 持 補 修 費 〔 道路、公共施設などを管理するための補修費 〕	275,066	157,567	1.9	2.4	316,674	△ 13.1
扶 助 費 〔 児童福祉法・身体障害者福祉法などの法令に基づき 支出する児童手当や医療扶助などの経費 〕	1,397,916	266,806	9.9	4.1	979,413	42.7
補 助 費 等 〔 町から他の団体（道・市町村など）や公営企業、民 間に対して、行政上の目的により支出される経費 〕	1,294,521	490,483	9.2	7.4	3,197,874	△ 59.5
公 債 費 〔 町債の元金・利子や一時借入金の子利などの経費 〕	1,236,777	1,181,721	8.8	17.9	1,342,521	△ 7.9
積 立 金 〔 財政運営を計画的にするため、又は財源の余裕があ る場合に、年度間の財源変動に備えて基金に積み立 てる経費 〕	1,805,178		12.8		993,744	81.7
投資及び出資金・貸付金 〔 公営企業や民間に対する出資金・出捐金、株式等の 取得、現金の貸付に要する経費 〕	195,342	167,892	1.4	2.5	196,422	△ 0.5
繰 出 金 〔 一般会計から特別会計へ支出される経費 〕	922,756	675,047	6.5	10.2	976,538	△ 5.5
前年度繰上充用金 〔 前年度の歳入不足に充てられた経費 〕	0		0.0		0	0.0
普 通 建 設 事 業 費 〔 道路、橋、学校、庁舎など公共・公用施設の新増設 の建設事業に要する投資的経費 〕	1,495,854		10.6		395,152	278.6
災 害 復 旧 事 業 費 〔 台風、地震などの災害により被災した施設を復旧す るための経費 〕	0		0.0		0	0.0
合 計	14,107,528	5,989,897	100.0	90.8	13,215,242	6.8
※決算額合計のうち会計年度任用職員に係る 報酬・給料・職員手当・共済費等の額	310,630	272,294	2.2	4.5	251,265	23.6

投資及び出資  
金・貸付金  
1.4%



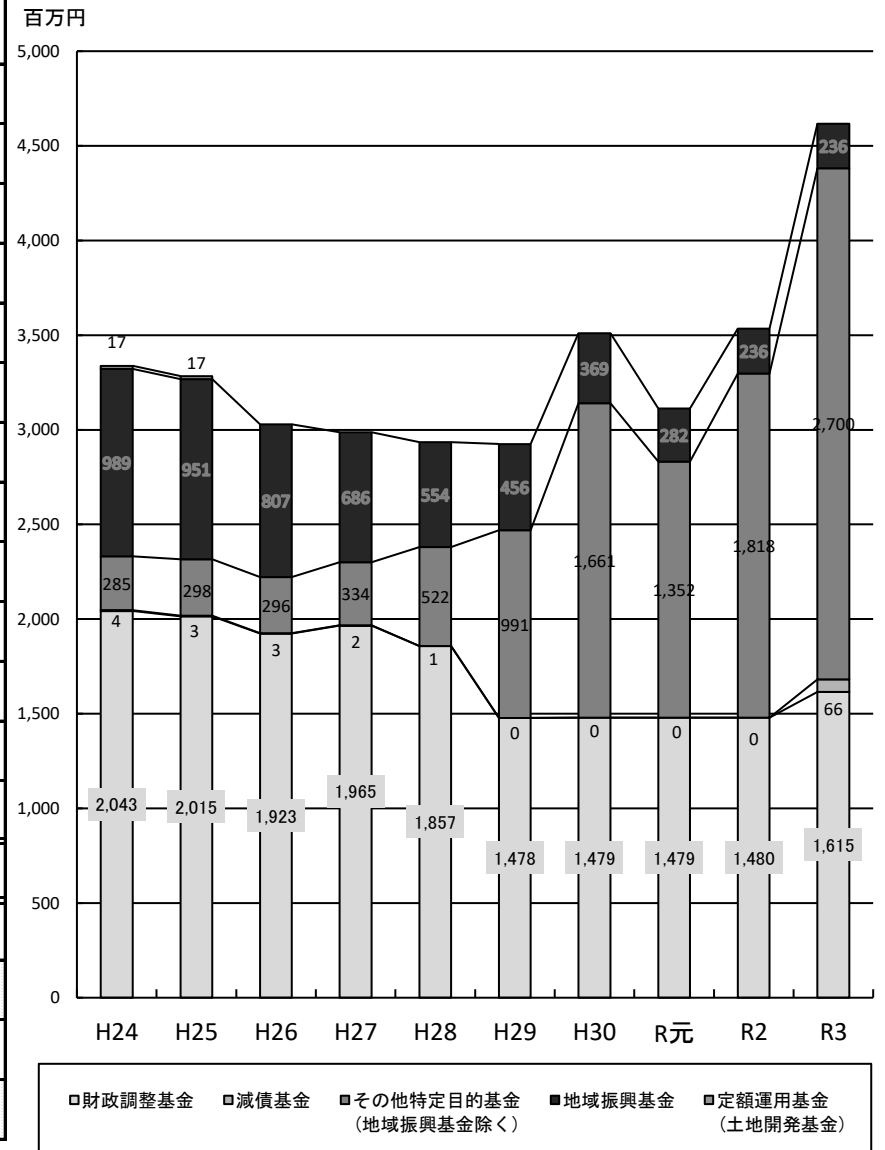
維持補修費  
1.9%

(6) 基金の状況

(単位：千円)

基金名		令和3年度末 現在高	令和2年度末 現在高	比較増減
財政調整基金		1,615,295	1,480,390	134,905
減債基金		66,161	75	66,086
特 定 目 的 基 金	中山間ふるさと・水と土保全基金	10,094	10,093	1
	文化センター建設基金	13,827	13,824	3
	定住対策促進基金	68,394	66,963	1,431
	グリーンピア大沼施設整備等基金	67,479	52,448	15,031
	地域振興基金	235,732	235,732	0
	ふるさと応援基金	2,267,532	1,624,772	642,760
	森林環境譲与税基金	25,839	16,304	9,535
	ホタテ未利用資源リサイクル施設運営調整基金	28,994	32,943	△ 3,949
	企業版ふるさと応援基金	700	500	200
	中小企業特別融資利子補給費基金	16,804	0	16,804
	幼児教育・保育施設等整備基金	200,000	0	200,000
合計		4,616,851	3,534,044	1,082,807
年度末現在人口(人)		14,275	14,770	△ 495
町民一人当たり基金等現在高		323	239	84
全会計の基金等現在高(現金預金管理分のみ)		5,033,453	3,898,537	1,134,916
町民一人当たり基金等現在高		353	264	89

○ 基金の現在高の推移



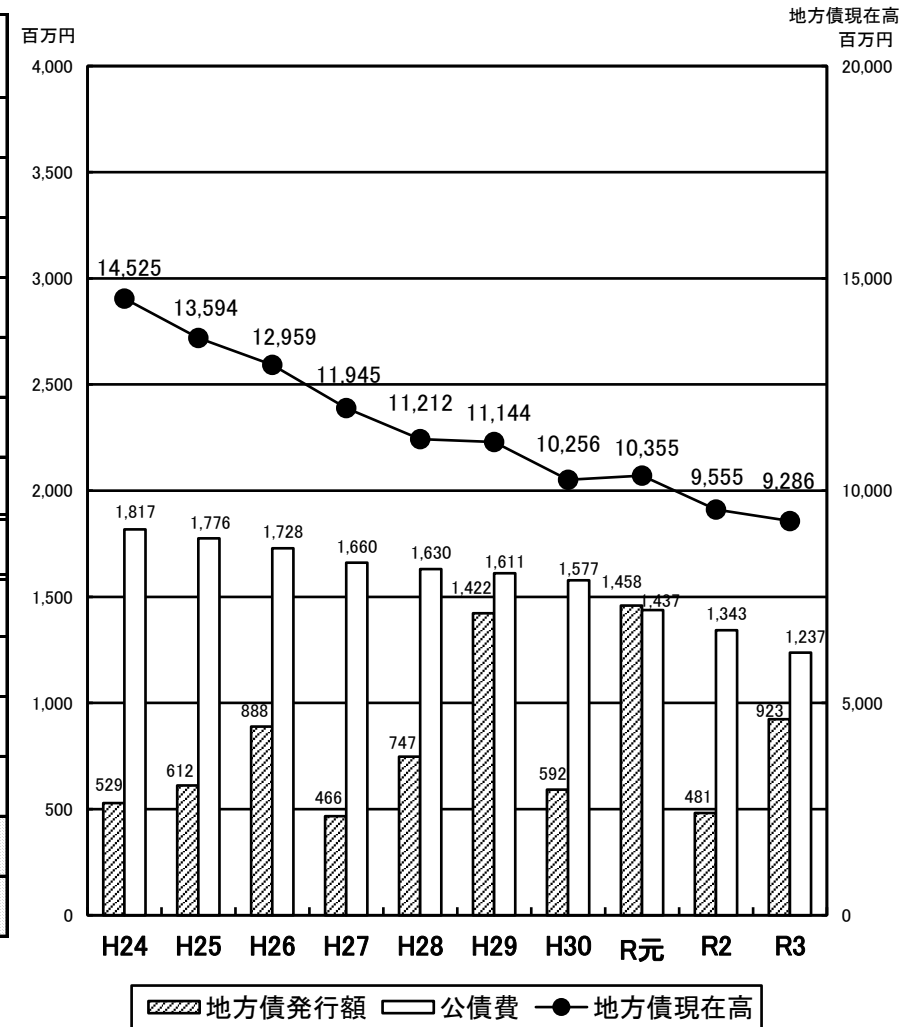
※特別会計基金等を除く一般会計等にかかる基金のみ

(7) 地方債借入先別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和3年度末 現在高	令和2年度末 現在高	比較増減
財政融資資金	6,632,914	6,517,590	115,324
旧郵政公社資金	132,838	223,819	△ 90,981
地方公共団体金融機構資金	1,032,961	1,148,659	△ 115,698
国の予算貸付・政府関係	11,753	15,201	△ 3,448
市中銀行・その他の金融機関	527,327	614,810	△ 87,483
共 済 等	948,075	1,035,065	△ 86,990
そ の 他	0	0	0
一 般 会 計 等 合 計	9,285,868	9,555,144	△ 269,276
年度末現在人口(人)	14,275	14,770	△ 495
町民一人当たり地方債現在高(一般会計等)	650	647	3
全会計の地方債現在高 ①	13,273,531	13,765,774	△ 492,243
①のうち普通交付税算入見込額 ②	8,593,822	8,754,054	△ 160,232
町民一人当たり地方債現在高(全会計)	930	932	△ 2
②を除く町民一人当たり地方債現在高	328	339	△ 11

○ 地方債の発行額と公債費の推移(一般会計等)



●財政用語解説●

実質収支	決算における歳入歳出の差引額（形式収支）から、翌年度に繰り越すべき財源を控除した額です。
単年度収支	決算における実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額です。これは、実質収支の中には前年度以前からの収支残が累積されているため、これを控除し、当該年度だけの収支を算出します。
実質単年度収支	単年度収支から実質的な黒字要素（財政調整基金積立金、地方債繰上償還額）や赤字要素（財政調整基金取崩し額）を加減した額で当該年度における実質的な収支を把握するためのものです。
基準財政収入額	地方交付税のうち、普通交付税の算定に用いる標準的な税収入を基準財政収入額といい、市町村分にあっては、税込見込額の75%と各譲与税収入見込額が算入されます。
基準財政需要額	普通交付税の算定に用いる数値で、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行う場合の財政的な需要額を算定したものをいいます。
標準財政規模	標準的な町税収入見込額に地方譲与税等や普通交付税を加えたもので、地方公共団体の標準的な一般財源の規模を示すものです。実質収支比率などの財政分析数値に用いられます。
財政力指数	基準財政収入額を基準財政需用額で割って得た数値の過去3年の平均値のことで、地方公共団体の財政に力があるかどうかを表す指標です。 財政力指数が高いほど財源に余裕があるとされ、1を超える地方公共団体は普通交付税の不交付団体となります。
経常収支比率	地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず毎年度経常的に収入される財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合です。この割合が高いほど臨時的な支出等に対応できないこととなり、財政構造の硬直化が進んでいる状態といえます。
実質公債費比率	一般会計（ホタテ未利用資源リサイクル事業特別会計を含む）が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模（町の標準的な収入）に対する比率です。
将来負担比率	一般会計（ホタテ未利用資源リサイクル事業特別会計を含む）が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模（町の標準的な収入）に対する比率です。
自主財源	地方公共団体が自主的に収入できる財源で、町税、使用料、手数料、財産収入などがこれにあたります。したがって、この割合が高いほど自主的な行政運営ができることになります。
依存財源	国や道から交付されたり割り当てられたりする財源で、国庫支出金、道支出金、町債、地方交付税などがこれにあたります。